

大学教育改革プログラム合同フォーラムでのポスター発表と講演について

出張日：平成 23 年 1 月 23 日（日）～24 日（月）

場所：東京都 秋葉原 UDX 2 階アキバスクエア ポスター展示会場および秋葉原コンベンションホール他
周辺会場

本連携事業は文部科学省 合同フォーラム推進事務局主催の平成 22 年度「大学教育改革プログラム合同フォーラム」においてポスター発表校に選定された。そこで秋葉原のポスター展示会場のブーススペースにおいてポスター発表を行った。また、秋葉原コンベンショナルホール（秋葉原ダイビル 2 階）にて文部科学省副大臣の開会挨拶、基調講演および分科会 2「大学間連携の展開」を聴講したのでこれを報告する。

ポスター発表「医工薬連環科学」教育システムの構築と社会還元～分子からの社会までの人間理解～

平成 23 年 1 月 24 日（月）の 9 時過ぎに秋葉原 UDX 2 階アキバスクエア ポスター展示会場が出展者のみに開場され、ブースの設営作業を行った。A1 サイズのポスターを二枚設置した。さらに医工薬連環科学教育研究機構のこれまで取り組みを紹介するため活動記録の写真を白板透過型プロジェクターにてスライドショー形式で投影した。また、この取り組みにおいて山本健准教授が制作した超音波を可視化した教育用 DVD の放映をノート PC のモニター画面上で行った。また机上には配布用に本機構の今年度の紹介パンフレット、ニュースレター創刊号と第二号、そして平成 21 年度の成果報告書を設置した。

ポスター会場での本機構のブースに対する聴衆の反応は、足を止めて見て下さる方も多く、概ね好評であった。遠隔講義システムやそれを用いたシンポジウムの遠隔中継についての質問や、ポスター会場のプロジェクターを用いた提示装置に関する問い合わせも多かった。また、倉田准教授とも交流の深い広島大学の連携事業の先生もその後の詳細について尋ねに来られた。

「医工薬連環科学」教育システムの構築と社会還元 ～分子から社会までの人間理解～

最終目標

医工薬連環科学から
生命連環科学への
教育内容の発展

先導的医工薬連環教育研究拠点
地域集約型の効果的教育方法の策定と実施

地域に生き、
地域に育てられる
循環型教育システムの形成



取組1) 教育課程の構築

取組2) 教育支援システムの構築と
教育環境の整備

取組3) 地域社会への還元

医工薬の3分野の知識を身につけ、「分子から社会までの人間理解」の上に立ち、医療・

関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学 医工薬連環科学教育研究機構

<http://www.kansai-u.ac.jp/mpes-3U/>

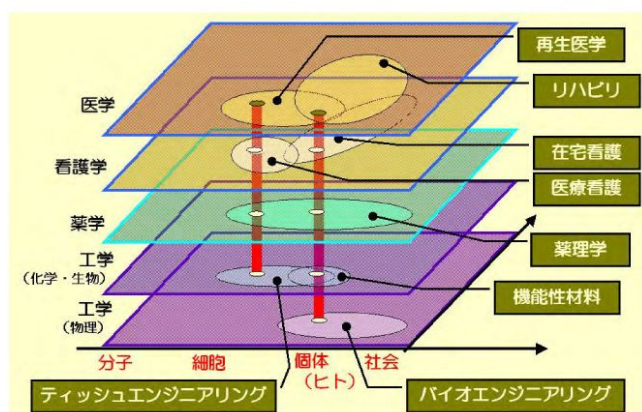


分子から社会までの人間理解を目指す 医工薬連環科学分野の教育システム

新たな専門的ジェネラリストの育成

生命科学から医工薬連環科学へ

医工薬連環科学分野では、医学・看護学・薬学・生物系工学・化学系工学・物理系工学などの従来の学問分野を階層的に配置し、具体的なテーマ（たとえば、人工関節）を導入として、各分野を連環させる科目内容とします。

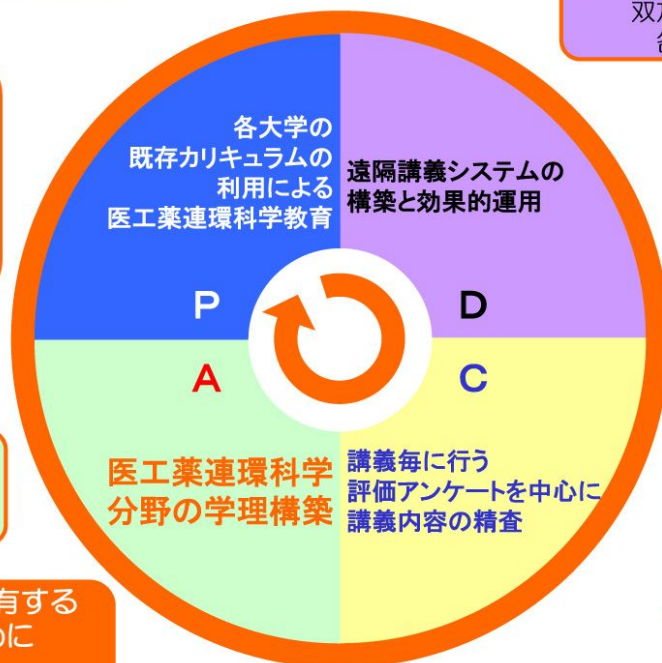


循環型教育システムの構築



遠隔講義システム・特別任用教員
双方向講義支援装置導入
各大学各部署の連携

H22年度 単位互換科目
医学概論、健康科学概論
生薬学1、機能形態学1
生薬学2、応用放射化学
微生物学4、機能性食品
社会環境適応材料
栄養科学、バイオメカニクス
福祉工学概論



新科目「医工薬連環科学」の設置
教科書・資料集の策定
実技科目の内容検討

生命・人間・社会などの専門知識を有する
新たなジェネラリスト輩出のために
配信側の状況重視の運用から
学理に基づく効果的教育の実施へ

臨場感ある双方向講義
オフィスアワー
授業評価アンケート
既存カリキュラムとの調整
他大学訪問調査
部門会議
自己点検・評価
外部評価

健康・医療・よりよい社会生活に貢献することを使命とした人材の育成に資する、総合的な学部教育を核とする教育システムの構築を目指しています



関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学 医工薬連環科学教育研究機構

<http://www.kansai-u.ac.jp/mpes-3U/>